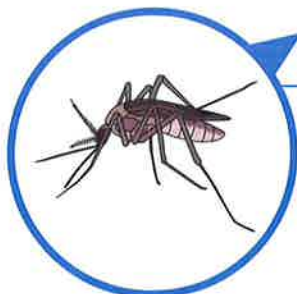


蚊の発生を防ぎましょう

蚊の中には日本脳炎・デング熱・マラリア・ウエストナイル熱・チクングニア熱・黄熱などを媒介する種類があります。今日、輸送手段が発達したため、海外の感染症流行地域から人や物を介して病原体の侵入が危惧されています。国内に感染症をまん延させないため、日ごろから蚊への対策が必要です。



【よく見られる蚊】

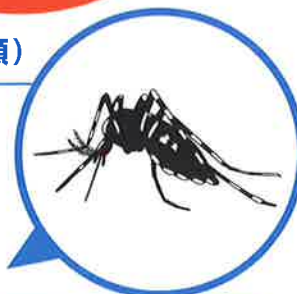


アカイエカ(イエカ類)

- ・主に夜間、屋内で吸血
- ・幼虫(ボウフラ)は雨水ます、側溝、放置されたバケツなどの水たまりに発生
- ・活動範囲広い(発生源が見つげにくい)

ヒトスジシマカ(ヤブカ類)

- ・主に日中、屋外で吸血
- ・幼虫(ボウフラ)は空き缶や外に放置された容器、墓地の花立てなどの水たまりに発生
- ・活動範囲が狭い(発生源が周辺にある)



蚊の一生

メスだけが産卵のために吸血します。一生の間に産卵を3～5回繰り返します。



蚊の防除のポイント

発生の防止

- 不要な水たまりをなくす。
- 水やりなどで水をためる場合は、
 - ・ 週1回は定期的な清掃・水の交換をする。
 - ・ 天敵(金魚・メダカなど)を飼う。

侵入の防止

- 蚊の侵入場所に防虫網・網戸を設置する。
- 定期的に草刈りや樹木の剪定をして、風とおしをよくする。

刺され防止

- 外に出る時はできるだけ肌の露出を避ける。
- 必要に応じ、忌避剤(虫よけ)を使用する。

あ! こんなところに ボウフラが...

蚊の防除は、水中に生息するボウフラを退治することがもっとも有効です。ボウフラはこんなところにできた水たまりに発生します。



空き缶・ペットボトル



空きビン



カップめん容器



古タイヤ



撤去する・雨の当たらない場所に置く

庭の汲み置き水



墓地の花立て



植木鉢の受け皿



水生植物の鉢*



こまめに水を捨てる・入れ換える

※鉢にメダカや金魚を入れておくのも効果的

つまった側溝



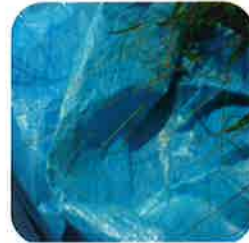
清掃する

雨水ます・排水ます



ボウフラ用薬剤の投入

防水シートのくぼみ



たるみをなくす

ペットの水のみ容器



毎日換える

● 殺虫剤・忌避剤の使用について (蚊に有効か、購入時に容器の記載を確認しましょう)

殺虫剤は虫を殺すためのものですので、人体への影響がないとは言い切れません。むやみな散布は、薬剤に耐性を持つ虫が生まれるきっかけになります。また、屋外での使用は蚊の天敵となる虫(トンボ、クモ等)も殺してしまうので、かえって蚊が増えてしまう結果になることもあります。使用する際は使用上の注意をよく読み、最小限に留めましょう。エアゾール剤は吸い込まないように注意してください。

忌避剤は、肌^きに塗って蚊の吸血を阻止するものです。やはり人体への影響はないとは言い切れませんので、使用する際は使用上の注意を守り過剰な使用は避けましょう。使用後は十分に洗い流してください。

住まいの衛生に関するご相談は

大田区保健所 生活衛生課 環境衛生担当

電話 (5764)0694 / Fax(5764)0711